

長瀬町公式マスコットキャラクター

とろにゃん

—イラストマニュアル—



長瀬町

カラー色指定 (CMYK/DIC)

※ 1色の白黒表現はカラーをグレースケール変換する。

黒 線画	40% 眉	15% 影
---------	----------	----------

K 100 K 40 K 15

さくら の線	80% 笠上部	40% ほっぺ	30% 薄色桜
-----------	------------	------------	------------

M 70 Y 30 M 55 Y 25 M 30 Y 15 M 20 Y 10

※ 00% は、基本カラー6色を特色にした時に淡い色を網点表現で表す際の数値。

※ CMYK はオフセット印刷用プロセスカラー。

笠内部 の線	60% 笠内部	30% 狼狽&目
-----------	------------	-------------

M 35 Y 100 M 20 Y 60 M 10 Y 30

目の中 の緑	80% 竹
-----------	----------

C 65 M 15 Y 80 C 50 M 10 Y 65

川の 濃い線	70% 法被
-----------	-----------

C 100 M 75 C 70 M 50

川の 水色

C 50 Y 15

秋 ver のみ

もみじ の色

M 85 Y 80



特色(ベタ)は基本6色

【特色: DICのナンバー】

黒	赤	黄
DIC294	DIC294	DIC567

緑	青	水色
DIC2552	DIC641	DIC2161

秋verのとろにゃんの笠の柄

(紅葉等のPR用/レア)

※秋verの笠は竹と同じ色

もみじの赤 ● M 85 Y 80

もみじの中 ● M 35 Y 100

※ 秋verの特色は 1色プラス。 右の赤色を追加し 計7色

赤
DIC2497



秋verの笠のUP



4方向の角度 (正面・後ろ姿・左側面・右側面)

※右手側が「ながとろ」、左手側が「とろにゃん」
※笠に入る絵は右側が「桜」、左側が「ロウバイ」
(ワッペンのイメージだが絵では平面調でOK)



とろにゃん使用禁止事項例

※長瀬町とキャラクターのイメージを守るため、以下の例のような使い方は禁止です。セリフ等を付ける場合にも下記のルールをお守りください。



縦横比の変更・変形禁止



許可なく絵を描き加えたり消したり、アイテム等を追加するのは禁止



許可なく指定色でない色への変更禁止



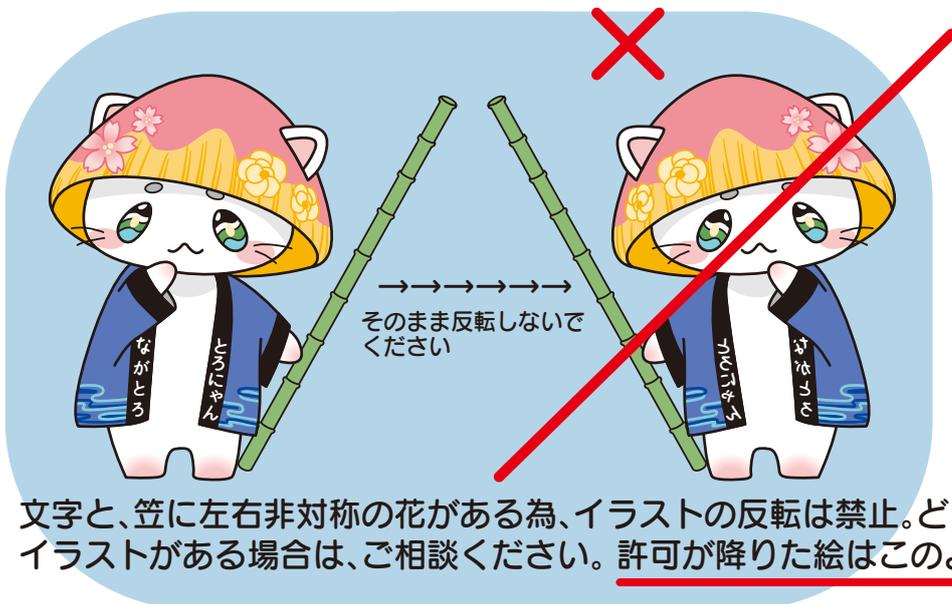
絵のバランスやポーズを変えるのは禁止



無難なセリフはOKだが、変なセリフや、許可なく商品や企業を支援する発言禁止



メッセージボードの拡大・縮小・色替えはOK。特定の団体を支援する表記は禁止



文字と、笠に左右非対称の花がある為、イラストの反転は禁止。どうしても反転したいイラストがある場合は、ご相談ください。許可が降りた絵はこのように直してお渡します。



公式イラストへのキャラクター表記方法

印刷物やグッズへ公式イラストを載せる際には「長瀬町公式マスコットキャラクター とろにゃん」と表記してください。



長瀬町公式マスコットキャラクター

○ とろにゃん



~~長瀬町公式マスコットキャラクター
とろにゃん~~

↑
ただし、ロゴのように主張が強く
個性的すぎる書体を使つての表現
は禁止。

コピーライトの表記方法

スペース等の関係で、上記の表記が難しい場合は、
シンプルな書体で「© 長瀬町 とろにゃん」、「© 長瀬町」
又は「© NAGATORO TOWN」の文字をイラストのそばに
表記してください。



© 長瀬町 とろにゃん



© 長瀬町



© NAGATORO TOWN

特色1色(網点あり)・特色1色ベタ(網点なし)等 (特殊な印刷機用のデータ変換)

一般的なカラー印刷ではない1色印刷をする際には、各印刷機の仕様にあわせたデータを用意する必要があります。細かい網点表現が可能な印刷機の場合は基本のカラーイラスト(①)をグレースケール変換する(②参照)だけでOKですが、印刷機の仕様によっては、白か黒かの完全ベタにする(③参照)必要があります。【③は通常、用意していません】その際、色の変換にはそれぞれ印刷機の特徴にあわせた変換や線の太さ・グラデーションや薄い色の削除(白に変換)が必要になりますので、それらのデータが必要な場合はお問い合わせください。



① 基本カラー(ノーマル)



② グレースケール(カラーを変換)



③ 白黒ベタ(網点表現なし)

特色1色

②や③を特色(一例として■紫色)で刷り、下地の紙や布が水色の場合は右のように仕上がります。

印刷機が網点表現可能な場合は②のデータで表現可能です。

網点が出来ない印刷機の場合は③のデータ(白黒ベタのみ・網点なし)を用意する必要があります。



②を■紫1色で印刷したイメージ



③を■紫1色でベタ印刷したイメージ

↑
下地のイメージ(一例として■水色)地の濃さで仕上がりが違ってきます(笠の上部白地と水色の差を参照)

※2色印刷でも下地が色付きだと濃くなります

特色2色印刷(網点あり)の場合

④■赤系のインクと⑤■青系のインク(特色2色印刷)の場合、①のカラーに雰囲気に近い仕上がりになるデータを作る事も可能です。その際の色設定には上記と同じく、印刷機にあわせた変換と下地への配慮が必要になります。



※4色印刷は白地に印刷が前提なので白い肌も表現可能→